

## 東京都 時差 Biz 推進賞でワークスタイル部門を受賞！ ～朝のピーク時間帯の混雑緩和、社内の働きやすい環境づくり～

東京急行電鉄株式会社

当社は、鉄道会社として朝のピーク時間帯の混雑緩和、社内の働きやすい環境づくりと生産性向上を目的として、従来から働く「時間」「場所」の自由度を高める様々な取り組みを実施しています。この度、東京都が実施する快適通勤ムーブメント「時差Biz」と連携した一連の取り組みが評価され、「時差 Biz 推進賞 ワークスタイル部門」を受賞しました。具体的な取組内容は以下のとおりです。

### (1) 当社での取り組み

- 分散出社、特に「朝型勤務(アーリーワーク)」の推奨
  - ・朝7時30分までに出勤した本社勤務員を対象に、セルリアンタワー東急ホテルのブレッド、もしくはスムージーを提供【実施期間:2018年7月9日～8月10日(時差Biz夏の集中取り組み期間)】
  - ・打合せ時間のコアタイム設定、始業チャイムの廃止
- テレワークによるオフピーク通勤の推奨
  - ・当社が運営するサテライトシェアオフィス「NewWork」との連携
  - ・テレワーク周知活動として他社とのテレワーク連携イベントの実施

### (2) 東急グループ各社での取り組み

- 東京都内に事業所がある東急グループ約40社への呼びかけの結果、全社が「時差Biz」に参加登録各社が「時差Biz」に取り組みやすい環境の整備や、従業員のオフピーク通勤推奨を実施【東急グループ各社 取り組み事例】
  - ・サテライトシェアオフィス「NewWork」でのテレワーク導入に向けたトライアルを実施
  - ・スライド勤務の対象時間を1時間拡大

当社では、時差 Biz 夏の集中取り組み期間(2018年7月9日～8月10日)は、1日約100名が朝型勤務を実施し、テレワーク利用率も約40%と、過去最高となりました。また、時間外労働時間も、対前年同月比8%減少するなど、削減に一定の効果がありました。今後も東急線各線の朝のピーク時間帯の混雑緩和、社内の働きやすい環境づくりと生産性向上を重要な課題と位置づけ、今後も東急グループ一丸となって、恒常的な「時差 Biz」の取り組みを実施していきます。



▲サテライトシェアオフィス「NewWork」



▲セルリアンタワー東急ホテルでのブレッド提供の様子

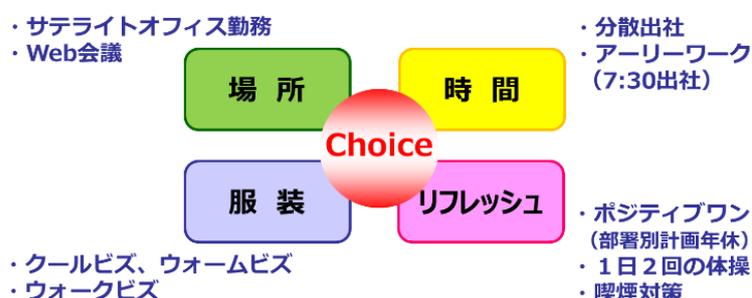
## 【別紙】

### ●当社のワークスタイル・イノベーション「Smart Choice」

当社は、新・中期3か年経営計画「Make the Sustainable Growth」において、ワークスタイル・イノベーションの進化を掲げています。取り組みの一環として、従業員が創造性発揮や業務効率化に向けて、働く「場所」、「時間」、「服装」に加えて「リフレッシュ」を主体的に選択する「Smart Choice（スマートチョイス）」を推進するとともに、「サテライトオフィス勤務」、「ウォークビズ」など、各メニューの拡大に取り組んでいます。働きがいがある仕事と働きやすい環境の整備、生産性向上とイノベーション創出により、「日本一働き続けたい会社」を実現するとともに、自ら実践した働き方改革を社会へも展開しています。

## Smart Choice（スマートチョイス）

年間を通じて、自身の職務・環境に合わせたスタイルを選択する取り組み。従来の働き方に捉われず、創造性発揮や業務の効率化を考え、従業員が主体的に働き方を選択することを目的としている。



### ●サテライトシェアオフィス「NewWork」

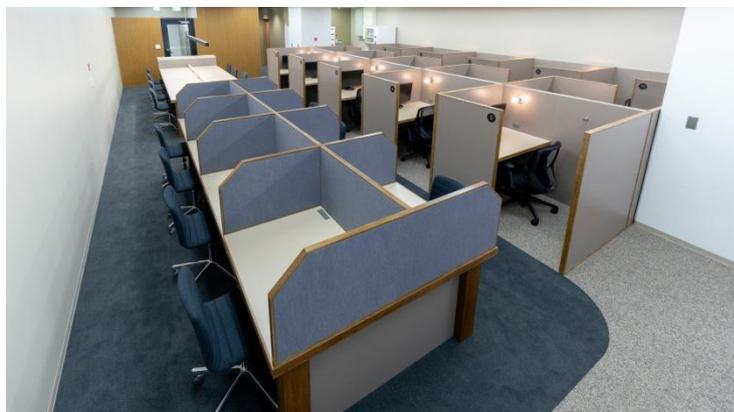
働き方の多様化に対する関心の高まりを背景に、自宅近くや都心で、便利で快適に執務できる会員制シェアオフィスを提供しています。テレワークを導入する企業を対象に、業務効率向上や人材確保、本社コスト削減、通勤時の混雑回避などといったニーズに対応した事業を展開しています。2018年6月に全国の提携店も含めた店舗ネットワークが100店舗を突破し、10月末現在、180法人、70,000名を超えるお客さまの会員登録をいただいています。

また、お客さまのさらなる利便性向上を目指し、9月には大宮、11月には梅田に新たに直営店舗を出店しました。また、1月には北千住、2月には京都への出店を予定しています。東急線沿線の駅周辺だけでなく、沿線外の都心部のターミナル駅周辺での直営店舗展開を強化することにより、お客さまのさらなる利便性向上に寄与します。

■URL: <https://www.newwork109.com/>



▲NewWork 大宮



▲NewWork 梅田

以 上